学校番号	320

令和８年度　理科

教科	理科	科目	（学）生物基礎演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	高校生物基礎　（実教出版）						
副教材等	新課程版　ネオパルノート　生物基礎　（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

前年度に未到達であった生態系の範囲をまず学習します。さらに地球創生期からの生物の進化についてＤＶＤ等の動画を用いて学習します。そして、現在地球上に生息する生物の行動から、我々ヒトの行動も理解していきましょう。教科書にはなかなか載っていないような動物の興味ある行動を紹介していきます。

今後の人生が豊かなものになるように、自分自身でその行動の意味を考えて、受講生同士で議論していきましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】

生態系全体の枠組み、そして個々の生物の役割を理解する。

生物進化の過程を理解する。

動物行動の原理と遺伝子の関係を理解する。

【思考力、判断力、表現力等】

生態系の仕組みや生物進化から我々ヒトの今後取るべき道を考え、自分の言葉で表現する。

【学びに向かう力、人間性等】

さまざまな意見を聞き、受講生同士でお互いの意見を補足しあう。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・生態系について基本的な概念や原理・原則を理解し、知識を身に付けている。 ・地球環境の変遷の歴史とそこに適応しながら進化し続けてきた生物について、その過程や結果を的確に理解している。 ・動物の行動が以前に学習した内容とどのように関連しているのかを理解している。	環境や動物行動の中に問題点を見出し、自分の経験則やインターネットを駆使した調べ学習を通じて、科学的に考察し、導き出した考えを適切に表現している。	日常生活や社会との関連を図りながら環境と動物行動の関係に興味を持ち、意欲的に探求しようとするとともに、動物の行動にはどこか共通点がないかと常に意識するような科学的な見かたや考え方を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	生物の多様性と生態系	・生態系とその成り立ち ・植生とバイオーム ・生態系と生物の多様性 ・生態系のバランスと保全	a:生態系と物質循環について資料収集などを行い、それらを的確に記録、整理している。 陸上には様々な植生が見られ、植生は長期的に変化していくことを理解し、知識を身に付けている。 b:「生物の多様性と生態系」に関する探究活動を行い、事象や結果を考察し、適切に表現している。 c:気候とバイオーム、生態系のバランスについて関心をもち、意欲的に学習しようとしている。	定期考査 小テスト 観察等	定期考査 小テスト 提出物 観察等	提出物 観察等 調べ学習 発表等
2	生物の進化	・地球の創生と単細胞生物の誕生 ・単細胞生物から多細胞柄異物への進化のカギ ・海から陸上への進出 ・動物と植物の関係性 ・人類の歩んできた道	a:「地球の歴史と生物の進化」に関する探究活動を行い、生物学的に探究する方法を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録・整理している。 生物の進化には地球環境が大きく関わっていることを理解し、因果関係を理解して身に付けている。 b:ａの知識を基に同じ種でも繁栄する生物と絶滅していった生物との違いを考察し、自分なりの考えを発表することができる c:生物の進化について関心をもち、意欲的に学習しようとする。	定期考査 小テスト 観察等	定期考査 小テスト 提出物 観察等	提出物 観察等 グループワーク等

3	動物行動と遺伝子	・利己的遺伝子の考え方 ・血縁度と動物行動の関係 ・様々な動物の具体的な行動 ・ヒトの行動との関連性	a:動物行動の文献を読み、それらを的確に記録・整理している。利己的遺伝子の考え方を理解する。 b:動物行動の原因を探り、自分なりの考えをまとめて表現する。その際、血縁度が重要となることに留意する。 c:授業で取り上げたこと以外の動物行動で興味深いものを調査し、その行動の原因を発表する。この際に、自分とは違う見解もあることを質疑応答や議論を通して知る。	小テスト 観察等	小テスト 提出物 調べ学習 観察等	小テスト 提出物 調べ学習 観察等

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度